

試合No.	D4	大会名	令和4年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第76回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会										
		期 日	令和4年6月5日(日)				会 場		小田原アリーナ				
男子準決勝戦	CC	小澤 勤	U1			大野 太裕		U2		小澤 朋克			
		チーム名					1Q	2Q	3Q	4Q	延長	延長	合 計
		正智深谷(埼玉)					28	17	16	28			89
		八王子(東京)					19	20	20	24			83

正智深谷(埼玉)

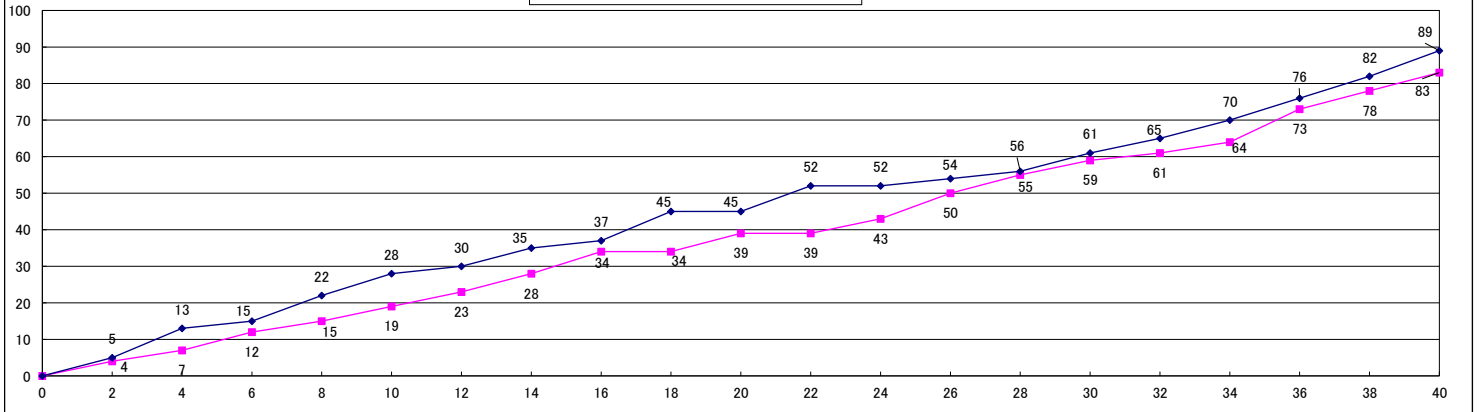
氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
ルーニー 慧(CAP)	* 4	31	3	8	38%	10	14	71%	2	2	100%	1	10	10	2	1	1	2
田中 祥智	* 5	24	8	22	36%	0	3	0%	0	0		0	9	0	0	0	0	2
樋口 碧空	* 6	8	0	0		4	7	57%	0	0		2	2	1	1	0	1	3
穴澤 樹	* 7	14	0	1	0%	6	10	60%	2	4	50%	0	1	5	0	0	0	1
長瀬 光世	8																	
三村 蓮	* 9	11	0	0		2	9	22%	7	8	88%	0	7	2	1	0	1	2
グレノグン オサゼ デロック	10	1	0	0		0	0		1	2	50%	0	0	0	0	0	0	1
中島 亮真	11																	
成田 隼	12	0	0	1	0%	0	0		0	0		1	0	0	0	0	0	0
秋穂 将斗	13																	
内田 光駿	14																	
千尋 奏汰	15																	
飯島 康介	16																	
宿輪 章太	17																	
山田 仁弘	18																	
コーチ 成田 靖																		
合 計		89	11	32	34%	22	43	51%	12	16	75%	4	29	18	4	1	3	11

八王子(東京)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
権澤 朱威	1																	
サニヤン ウセイヌ	2	21	0	0		10	19	53%	1	1	100%	7	14	1	0	3	5	3
渡辺 翔空	4	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
ンジャイ ムハンマドク ムスタファ	* 5	4	0	0		2	2	100%	0	0		1	2	1	0	0	4	0
管野 希一	6	4	0	1	0%	2	2	100%	0	0		0	1	0	0	0	0	0
平原 侑真	7																	
粟田 光(CAP)	* 9	6	0	2	0%	2	9	22%	2	4	50%	0	0	8	0	0	0	2
八重沢 連	10	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	2	0	0	0	0	1
北見 凜太郎	* 11	30	6	12	50%	6	10	60%	0	0		0	3	0	3	0	0	2
十返 翔里	12																	
吉田 叶貴	* 13	16	3	9	33%	3	5	60%	1	2	50%	0	4	2	0	2	0	2
清水 雄太	* 15	0	0	1	0%	0	1	0%	0	0		1	3	0	0	0	0	1
並木 棟吾	28																	
天満 康葉	32																	
笠木 憂生	38																	
コーチ 石川 淳一																		
合 計		83	9	25	36%	26	50	52%	4	7	57%	9	29	12	3	5	9	11

得点経過

● 八王子(東京) ● 正智深谷(埼玉)



戦評

1Q 正智深谷マンツーマン、八王子ハーフコートゾーンでスタート。八王子は#9がよく指示を出しハーフコートバスケットを組み立てる。対して正智深谷は思い切りよくアウトサイドシュートを放ち、勢いをつける。また八王子のビッグマンに対して、素早くダブルチームで対応し簡単にシュートを打たせない。正智深谷は#5がこのクォーター4本の3ptsを決め八王子を突き放すことに成功。正智深谷28対19八王子。

2Q 正智深谷は#4を中心に、相手のスペースを探りながらゾーンアタックを試みる。#6#9がショートコーナー、ハイポストで中継ミドルシュートでスコアしていく。対して八王子は#11の3pts#13のドライブを中心に攻撃。また、相手の攻めに対してマッチアップしながらゾーンを変形させて対応した。正智深谷45対八王子39で前半終了。

3Q 前半に引き続き正智深谷マンツーマン、八王子ハーフコートゾーンでスタート。八王子はオフボールでの動きを増やし、ビッグマンへのパスを狙うが正智深谷の対応が速い。そこで#9のドライブから#11の3ptsで打開する。対して正智深谷はオフェンスを1ガード、2ガードと変化をつけながら確実にスコアを伸ばしていく。八王子は#11が3pts、2ptsに奮闘しチームを引っ張り、残り1分半で遂に逆転に成功。しかし正智深谷も#4がミドルシュートを決め返し正智深谷61対59八王子で最終クォーターへ。

4Q 正智深谷はインサイドへの対応を緩めず、常にコミュニケーションを取り合いながら、相手ビッグマンの居場所を共有することで素早いダブルチームを組むことに成功し簡単にシュートを打たせない。八王子は交代で入った#6が1対1で局面を打開し2ptsでスコアを伸ばすも、正智深谷も#5の3pts、#4の2ptsで追いつかせない。勝負のかかったラスト2分。正智深谷が一番苦しい所でディフェンスから速攻が出て勢いになる。八王子も#2がゴール下で奮闘し55秒で同点。正智深谷タイムアウト。互いにターンオーバーでラリーの中、正智深谷#5が冷静に3ptsを沈める。残り34秒八王子タイムアウト。最後は#9がフリースローを4/4で成功させ、正智深谷89対83八王子で正智深谷が見事な勝利を取めた。